

地区交付金を増額しては

星川智子委員

問 地区応援割は来年度も実施するのか。人口が減少し、地区の運営資金も減って運営が厳しくなるため交付金を増額することはできないか。

答 総務課長 地区応援割は令和5年度に続き6年度も交付した。来年度も予算要求し、継続したいと考える。地区の構成人員が減れば地区経費、人的労力も減るので必要に応じて見直していきたい。



区長会議

景観条例に対する認識の相違は

矢口政一委員

問 防災倉庫の建設に対し、3人の景観審議会専門委員から町長と議員に計画の見直しを求める上申書が届いた。景観条例に対し町との認識の相違はないか。

答 総務課長 町には景観のほかにも大きな柱となる施策が複数ある。この事業は町民の福祉増進のため、議会とも相談しながら計画を練ってきた。できるだけ景観に配慮して進めたい。



景観審議会

農家への利子補給復活を

中村忠行委員

問 融資を受ける農家が少なくなっているようだ。農家の投資意欲が低下していることが懸念される。町の利子補給の状況は。

答 産業課長 平成28年度以降の借り入れには国が5年間、県と町が5年間利子補給し、10年間無利子となるが、令和3年度、県と町の支援が終了した。令和4年度以降は国の支援が5年間あるのみ。利子補給は良い制度であり、町の負担も大きくないので復活も考えたい。



タブレット学習

学力向上対策は

沼澤道也委員

問 全国学力・学習状況調査(国語、算数・数学)の結果は、学力向上対策のひとつの指標であると思うが、今年の結果や課題、また今後の対策は。

答 教育長 小学校では例年算数が劣るが、今年は県平均より上だった。中学校も数学が

大幅に改善しているが、文章問題に対する読解力に課題がある。これまでどおり探求型学習を継続することが重要と考える。ICT環境が整い、授業に積極的に取り入れていくほか、イザベラ塾では今年度からオンライン授業を始めた。家庭でのドリル学習もタブレットを使うなど自主学習の環境が広がっている。

Table titled '農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)'. It contains detailed information about the fund, including its purpose, features, eligible users, and application conditions. The table is organized into sections: 1. 資金の特徴 (Fund Features), 2. 利用対象者 (Eligible Users), 3. 利用条件等 (Usage Conditions), and 4. 取扱金融機関 (Handling Financial Institutions).

グリーンバレーマネジメント総括は

寒河江宏一委員

問 (株)Beiryu(ベリリュ)とマネジメント契約を締結したが、その評価は。

答 産業課長 ペット同伴、料金改定などの改善やホテル従業員の

意識改革を行ったが、営業成績は上がらなかったため、今年度は継続しなかった。部分的な改善に向けた取り組みはされたが、全体的な面での大きな効果に至らなかった。



神室スキー場の充実

栗田保則委員

問 昨年度のスキー場従業員数と給与状況は。また、今年度指定管理をお願いする(株)ライズに期待することは。

答 産業課長補佐 昨年度は営業日数が少な

かったためスタッフは8名、給与は例年の8割ほどだった。産業課長 (株)ライズには、スキー場運営のあらゆる面において専門性の高い事業展開を期待している。収益をあげていただき、今後指定管理料を少しでも軽減できればと思う。

